

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

18. 症状および徴候

文献

吉川裕康, 池内隆夫, 甲斐祥生. 特発性顕微鏡的血尿に対するキュウ帰膠艾湯と柴苓湯の臨床効果. *漢方と最新治療* 1997; 6: 55-8.

1. 目的

特発性顕微鏡的血尿に対するキュウ帰膠艾湯と柴苓湯の有効性と安全性の評価

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

実施施設に関する記載なし (著者は昭和大学藤が丘病院及び緑成会横浜総合病院)

4. 参加者

特発性顕微鏡的血尿症例で、自覚症状なく、導尿による尿検で血尿あり (甲斐らの判断基準)、泌尿器科諸検査にて異常を認めない女性 68 名

5. 介入

Arm 1: ツムラキュウ帰膠艾湯エキス顆粒 9.0g 3x 4 週間 26 名

Arm 2: ツムラ柴苓湯投与エキス顆粒 9.0 g 3x 4 週間 19 名

Arm 3: 非投与群 23 名

6. 主なアウトカム評価項目

導尿による顕微鏡的血尿の程度

7. 主な結果

Arm 1 では著効 34.6%、改善 38.5%、不変 23.1%、悪化 3.8%で Arm 3 の著効 0%、改善 26.1%、不変 52.2%、悪化 21.7%に比べ有意に血尿の改善が認められた ($P<0.0002$)。Arm 2 でも著効 26.3%、改善 31.6%、不変 42.1%、悪化 0%と Arm 3 に比較し有意に血尿の改善が認められた ($P<0.0045$)。Arm 1 と Arm 2 の 2 群間では血尿の改善に有意差を認めなかった。

8. 結論

キュウ帰膠艾湯及び柴苓湯は女性の特発性顕微鏡的血尿に対する有効性が示唆される。

9. 漢方的考察

考察で論及している。

10. 論文中の安全性評価

両群とも副作用は認められなかった。

11. Abstractor のコメント

女性の特発性顕微鏡的血尿に対しキュウ帰膠艾湯及び柴苓湯が有効であることが示された貴重な比較臨床試験である。著者も指摘しているが 2 種類の異なった証に対する方剤はそれぞれ作用機序が異なる。随証治療による RCT を行えばさらに有効性が高まると思われる。

12. Abstractor and date

岡部哲郎 2008.8.26, 2010.6.1, 2013.12.31